

Program

2008年2月9日(土) 9:30~18:45		(受付開始:9:00~)	終了後:会員交流会開催
9:00~	受付		
9:30~ 9:35	■開会の辞	鄭 忠和先生 (性差医学・医療学会 第1回学術集会 会長)	
9:35~ 9:45	■来賓挨拶	上田 博三様 (厚生労働省大臣官房技術総括審議官)	
9:45~10:15 〔同時通訳〕	■会長講演 「和温療法」	司会: 松崎 益徳先生 (山口大学大学院器官病態内科学) 演者: 鄭 忠和先生 (鹿児島大学大学院循環器・呼吸器・代謝内科学)	
10:15~11:00 〔同時通訳〕	■特別講演 1 「Sex, Gender and Medicine : An Overview」	司会: 天野 恵子先生 (千葉県衛生研究所) 演者: Marianne J. Legato先生 (Columbia University, USA)	
11:00~11:45 〔同時通訳〕	■特別講演 2 「Why do we need Gendermedicine」	司会: 松田 昌子先生 (山口大学大学院保健学系) 演者: Vera Regitz-Zagrosek先生 (Charite&DHZB, Germany)	
11:45~12:35	■ランチョンセミナー 1 「虚血性心臓病における性差について考える」 (コクヨホール)	共催: ノバルティスファーマ株式会社 司会: 大内 尉義先生 (東京大学大学院加齢医学講座) 演者: 下川 宏明先生 (東北大学大学院循環器病態学分野)	
	■ランチョンセミナー 2 (多目的ホール)	共催: 第一三共株式会社 司会: 齋藤 康先生 (千葉大学) 「心疾患予防薬としてのスタチン製剤-水溶性と脂溶性-」 演者: 市原 和夫先生 (北海道薬科大学薬理学分野)	
		「MEGA studyから学ぶ心血管イベントの性差とスタチンの効果(特に女性における解析)」 演者: 水野 杏一先生 (日本医科大学内科学講座、MEGA study Group)	
12:45~13:25	■ポスターセッション(1階サロン)		世話人会・評議員会(3F 会議室)
13:30~14:35 〔同時通訳〕	■シンポジウム 1 「アジアにおける性差医学医療の現状と今後の展望」	司会: Marianne J. Legato先生 (Columbia University, USA) Vera Regitz-Zagrosek先生 (Charite&DHZB, Germany)	
		「Japanese women's medical characteristics seen in Epidemiological Data」 演者: 大櫛 陽一先生 (東海大学医学部医学教育・情報学)	
		「Gender difference in Korea; Focused on cardiovascular system」 演者: Cheol Ho Kim先生 (Bundang Hospital, Seoul National University, Korea)	
		「Go Red for Chinese Women: Take Care of Her Heart」 演者: Yifang Guo先生 (People's Hospital of Peking University, P.R. China)	
14:35~15:05	■総会		
15:05~16:05	■教育講演 1・2 「性差と生涯医療」		
15:05~15:35	「周産期医学と性差医学」	司会: 友池 仁暢先生 (国立循環器病センター) 演者: 池田 智明先生 (国立循環器病センター周産期治療部)	
15:35~16:05	「疫学的視点からみた女性長寿の要因」	演者: 上島 弘嗣先生 (滋賀医科大学社会学講座(福祉保健医学))	
16:05~17:35	■シンポジウム 2 「男女共同参画社会と病」	司会: 天野 恵子先生 (千葉県衛生研究所) 山口 徹先生 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院)	
	「男女共同参画社会における性と健康」	演者: 荒木 葉子先生 (荒木労働衛生コンサルタント事務所)	
	「医師の労働環境改善のために・男女関わりなく人間らしく」	演者: 板井八重子先生 (全国保険医団体連合会女性部)	
	「行政の立場から」	演者: 堂本 暁子先生 (千葉県知事)	
	「職場で、家庭で、法で護られる女性の健康」	演者: 瀧美 雅子先生 (瀧美雅子法律事務所)	
17:35~18:45	■シンポジウム 3 「日本における女性医師研究者の現状と展望」	司会: 笠貫 宏先生 (東京女子医科大学循環器内科学)	
	「女性医学研究者支援室システムに身を置いて -その問題点と対策を考える-」	演者: 桑原 和江先生 (東京女子医科大学・女性医学研究者支援室)	
	「東京女子医科大学の取り組み『保育とワークシェアによる女性医学研究者支援』」	演者: 斎藤加代子先生 (東京女子医科大学附属病院遺伝子医療センター)	
	「女性医師の現状と今後の対策」	演者: 亀井美登里先生 (国立成育医療センター)	
18:45~20:15	会員交流会(会場:1階サロン)	*会員交流会 会費無料	

Program

2008年2月10日(日) 9:00~17:25 (受付開始:8:30~)	
8:30~	受付
9:00~ 10:30	<p>■シンポジウム 4 「Evidence Based MedicineとNarrative Based Medicine」</p> <p>司会：永井 良三先生 (東京大学大学院循環器内科)</p> <p>【臨床試験結果の解釈】 演者：大橋 靖雄先生 (東京大学医学部健康科学)</p> <p>【EBM とQuality Indicator】 演者：福井 次矢先生 (聖路加国際病院)</p> <p>【NBDMの立場から】 演者：斎藤 清二先生 (富山大学保健管理センター)</p>
10:30~10:40	休憩
10:40~12:00	<p>■シンポジウム 5 「薬と性差」</p> <p>司会：上野 光一先生 (千葉大学大学院高齢者薬理学研究室)</p> <p>【月経周期にみられる薬物代謝酵素活性の変化】 演者：古田 隆先生 (東京薬科大学薬学部臨床薬学教室)</p> <p>【睡眠薬の薬物動態の性差と臨床効果】 演者：本間 真人先生 (筑波大学大学院臨床薬理学)</p> <p>【薬物依存と性差】 演者：鈴木 勉先生 (星薬科大学薬品毒理学教室)</p>
12:00~12:50	<p>■ランチョンセミナー 3 「消化管臨床診療における漢方薬のエビデンス」 共催：株式会社ツムラ (コクヨホール) 司会：天野 恵子先生 (千葉県衛生研究所) 演者：尾高 健夫先生 (千葉大学医学部付属病院 光学医療診療部)</p> <p>■ランチョンセミナー 4 「女性のうつの見立てと治療」 共催：ファイザー株式会社 (多目的ホール) 司会：倉智 博久先生 (山形大学医学部産科婦人科学教室) 演者：加茂登志子先生 (東京女子医科大学附属女性生涯健康センター)</p>
13:00~13:40	■ポスターセッション (1階サロン)
13:45~14:45	■教育講演 3・4
13:45~14:15	<p>教育講演 3 「免疫・アレルギーの性差」 司会：白鳥 敬子先生 (東京女子医科大学消化器内科) 演者：荻原 順一先生 (秋田大学医学部臨床検査医学)</p>
14:15~14:45	<p>教育講演 4 「女性肝臓学:肝臓を守る“女性”のパワーを探る」 演者：清水 一郎先生 (徳島大学大学院臓器病態治療医学)</p>
14:45~14:50	休憩
14:50~16:15	<p>■シンポジウム 6 「心身医療における性差」</p> <p>司会：中井 吉英先生 (関西医科大学心療内科科学講座) 荒木登茂子先生 (九州大学大学院医療経営・管理学)</p> <p>基調講演：「セロトニン神経からみた性差:うつ病、ストレスとの関係」 演者：有田 秀穂先生 (東邦大学医学部統合生理学)</p> <p>【男性心療内科医からみた心身症の性差 -うつ病と不安障害における身体症状の性差-】 演者：菅原 英世先生 (すがはら天神クリニック)</p> <p>【女性心療内科医からみた心身症の性差 ストレス対処との関連も含めて】 演者：武井美智子先生 (武井内科クリニック)</p>
16:15~17:15	■教育講演 5・6 「妊娠と薬」
16:15~16:45	<p>教育講演 5 「妊娠出産の漢方治療」 司会：野出 孝一先生 (佐賀大学医学部内科学) 演者：木下 優子先生 (日本大学医学部内科学系統統合漢方薬学分野)</p>
16:45~17:15	<p>教育講演 6 「妊娠と薬相談外来における胎児リスク評価とリスクコミュニケーション」 演者：林 昌洋先生 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院)</p>
17:15~17:25	■表彰式・閉会の辞

■参加費 医師・教官：¥10,000 コメディカル・その他(企業・公官庁関係者など)：¥5,000 研修医・学生：無料 《会員交流会費無料》
■本学術集会は、日本医師会生涯教育制度(3単位)認定講座となります。

Aグループ 一般演題 (ポスターセッション) [2月9日] 発表時間12:45~13:25

座長 中川 幹子先生 (大分大学)

- P 1 **当院女性総合診療外来における動悸症例の特徴**
○ 早野 智子^{1,2}、金原 輝史¹、大谷 望¹、古谷 雄司¹、森谷 浩四郎¹
国立病院機構 関門医療センター 循環器科¹、女性総合診療²
- P 2 **冠動脈内皮機能不全患者における飲水量と心血管イベントの関連についての性差別検討**
○ 才原 啓司、濱崎 秀一、石田 実雅、嘉川 亜希子、小川 正一、厚地 伸彦、新里 拓郎、
奥井 英樹、窪園 琢郎、桑波田 聡、藤田 祥次、内匠 拓郎、二宮 雄一、入来 泰久、
宮内 孝浩、増田 彰則、富田 可愛、鄭 忠和
鹿児島大学心臓血管内科
- P 3 **閉経後女性における血流依存性冠動脈拡張反応の予測因子 ~年齢を対応させた男性との比較~**
○ 溝口 悦子、濱崎 秀一、石田 実雅、嘉川 亜希子、小川 正一、才原 啓司、奥井 英樹、
折原 弘治、新里 拓郎、桑波田 聡、窪園 琢郎、藤田 祥次、内匠 拓郎、二宮 雄一、
入来 泰久、厚地 伸彦、宮内 孝浩、鄭 忠和
鹿児島大学心臓血管内科
- P 4 **心筋梗塞発症から入院までの時間における性差**
○ 大村 佳代¹、松田 昌子²、松崎 益徳³
山口大学医学部環境保健医学¹、山口大学大学院保健学系²、山口大学大学院器官病態内科学³
- P 5 **冠インターベンション後の長期予後における性差**
○ 西谷 美帆、宮内 克己、葛西 隆敏、久保田 直純、代田 浩之
順天堂大学循環器内科

Bグループ 一般演題 (ポスターセッション) [2月9日] 発表時間12:45~13:25

座長 武井 美智子先生 (武井内科クリニック)

- P 6 **女性専用外来における臨床心理士のカウンセリングの有用性について**
○ 花澤 佳子¹、竹尾 愛理¹、川嶋 裕子¹、大本 由樹¹、椎名 明大¹、西原 晴美²、平井 愛山³、
天野 恵子¹
千葉県立東金病院女性専用外来¹、同看護部²、同内科³
- P 7 **女性専用外来受診者のストレス因子について**
○ 西原 晴美¹、竹尾 愛理²、川嶋 裕子²、大本 由樹²、椎名 明大²、花澤 佳子²、天野 恵子³、
平井 愛山²
千葉県立東金病院女性専用外来¹、同看護部²、同内科³
- P 8 **データファイリングシステムを用いて解析した女性外来診療の特徴について**
○ 竹尾 愛理¹、柳堀 朗子²、秋野 幸一³、天野 恵子^{1,2}
千葉県立東金病院女性専用外来¹、千葉県衛生研究所²、NTTデータ 医療福祉ビジネスユニット³
- P 9 **女性外来初診時アンケート集計結果報告**
○ 照内 聡美、池口 典子、木平 百合子
宇都宮社会保険病院
- P 10 **女性専門外来開設後3年間の臨床検討**
栗岡 裕子
島根県立中央病院産婦人科

Cグループ 一般演題(ポスターセッション) 【2月9日】 発表時間12:45~13:25

座長 清田 真由美先生(春日クリニック)

P 11 女性医師の高い離職率に関する実態調査

- 泉 美貴¹、檜垣 祐子²
東京医科大学 病理診断学講座¹、東京女子医科大学 女性生涯健康センター²

P 12 性差医療および性差研究に関する文献調査

- 仲栄真 さつき、鶴飼 加奈子、菅井 波名、草間 美嘉、中村 智徳、上野 光一
千葉大学大学院 高齢者薬剤学研究室

P 13 養護老人ホームからの退所理由における性差の影響

- 揖場 和子
大阪市立弘済院附属病院 内科

P 14 関西性差医療研究会の3年間の活動について

- 揖場 和子¹、石蔵 文信²、後山 尚久³、甲村 弘子⁴、小山 敦子⁵、永井 朝子⁶
関西性差医療研究会、大阪市立弘済院附属病院¹、大阪大学医学系研究科保健学科²、藍野学院短期大学³、大阪樟蔭女子大学人間科学部⁴、近畿大学医学部堺病院⁵、兵庫県立塚口病院⁶

Dグループ 一般演題(ポスターセッション) 【2月10日】 発表時間13:00~13:40

座長 河野 宏明先生(熊本大学)

P 15 動脈硬化に対する危険因子の性差間の比較

- 窪菌 琢郎、宮田 昌明、上山 記代、永喜 亜耶、濱崎 秀一、鄭 忠和
鹿児島大学大学院 循環器・呼吸器・代謝内科学

P 16 冠血管機能に対する尿酸の酸化促進と抗酸化の相反作用:性差を含めた検討

- 桑波田 聡、濱崎 秀一、石田 実雅、片岡 哲郎、嘉川 亜希子、小川 正一、才原 啓司、
奥井 英樹、折原 弘治、新里 拓郎、白澤 尚宏、溝口 悦子、市来 仁志、窪菌 琢郎、
藤田 祥次、鄭 忠和
鹿児島大学大学院 循環器・呼吸器・代謝内科学

P 17 ストレス誘発型心機能低下に対する内因性エストロゲンの予防効果 -ラットモデルにおける検討-

- 吉本 直喜、石蔵 文信 准教授
大阪大学医学部保健学科放射線技術科学専攻

P 18 脂肪細胞におけるPPAR γ 発現の性差

- 黒崎 浩史¹、門脇 京子¹、生城山 勝巳²、中村 智徳¹、上野 光一¹
千葉大学大学院薬学研究院¹、千葉科学大学薬学部²

P 19 本態性高血圧患者におけるEndothelin-1関連遺伝子多型と動脈硬化進展との関連及び性差の影響

- 安田 久代¹、神出 計¹、滝内 伸¹、又吉 哲太郎¹、花田 裕典²、嘉田 晃子²、楊 進¹、
三輪 宜一¹、吉井 正義¹、堀尾 武史¹、吉原 史樹¹、中村 敏子¹、中濱 肇¹、鄭 忠和³、
宮田 敏行²、河野 雄平¹
国立循環器病センター 内科高血圧腎臓部門¹、研究所²、鹿児島大学大学院循環器・呼吸器・代謝内科学³

Eグループ 一般演題 (ポスターセッション) [2月10日] 発表時間 13:00~13:40

座長 濱崎 秀一先生 (鹿児島大学)

- P 20 **不安情動形成における青斑核の役割と性差の影響 -新たな神経細胞ターゲティング法による検討**
○ 鈴木 恵綾^{1,2}、大滝 郁恵²、石田 卓也²、奥脇 徹也²、小林 和人³、戸井田 朋恵^{1,2}、
渡邊 智彦^{1,2}、井樋 慶一^{1,2}
東北大学医学系研究科 神経内分泌学講座¹、東北大学情報科学研究科 情報生物学講座²、
福島県立医科大学生態情報伝達研究所³
- P 21 **総合病院内で開設されたジェンダメンタルヘルスケア~3つの機能を中心とした女性外来~**
佐々木 由佳
岩手県立中央病院 精神科
- P 22 **女性の排尿機能、性機能に関するアンケート調査**
○ 井上 雅¹、渡辺 豊彦²、小林 知子²、石井 亜矢乃²、横山 光彦³、小澤 秀夫¹、大和 豊子²、
公文 裕巳²
岡山労災病院泌尿器科¹、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科泌尿器病態学²、
川崎医科大学病院泌尿器科³
- P 23 **平成17年歯科疾患実態調査からわかった口腔の性差について**
○ 松木 貴彦¹、伊藤 加代子²
九州歯科大学顎口腔欠損再構築学分野¹、新潟大学大学院医歯学総合研究科²
- P 33 **獲得免疫における性差の可能性 -当院におけるワクチンの効果とウイルス抗体保有率の検討-**
○ 竹田 正秀、伊藤 巨、山口 一考、植木 重治、藤田 美好、萱場 広之、荻原 順一
秋田大学医学部臨床検査医学

Fグループ 一般演題 (ポスターセッション) [2月10日] 発表時間 13:00~13:40

座長 石蔵 文信先生 (大阪大学)

- P 24 **一般診療所におけるIT技術を用いた双方向性の生活習慣介入プログラムによる男性メタボリック症候群患者への新たな治療体系の構築**
○ 保坂 博章¹、陶山 佳子¹、峰澤 朝美¹、橋本 尚子¹、間山 貴文¹、鈴木 佐和子¹、永田 あずさ¹、
田中 知明¹、龍野 一郎¹、齋藤 康¹、天野 恵子²、久野 譜也³、佐々木 敏⁴
千葉大学大学院医学研究院細胞治療学¹、千葉県衛生研究所²、筑波大学大学院人間総合科学研究科³、
東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻⁴
- P 25 **更年期女性における閉経前後での臨床検査値の変化**
○ 木村 慶子¹、島田 直樹²、松葉 尚子³、小田 瑞恵¹、山田 和江¹
こころとからだの元気プラザ 女性のための生涯医療センターViVi¹、
慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室²、イーピーエス株式会社³
- P 26 **統計調査からみる千葉県民の健康状態の性差**
○ 柳堀 朗子、天野 恵子
千葉県衛生研究所
- P 27 **22市町村の基本健康診査結果に基づく千葉県民の健康状態の性差**
○ 柳堀 朗子、天野 恵子
千葉県衛生研究所

座長 藤井 美穂先生(時計台記念病院)

P 28 C型慢性肝炎の抗ウイルス療法にみられる女性高齢者の治療抵抗性と個別化治療の意義

- 名越 澄子¹、持田 智¹、中村 郁夫²、西川 稿³、関根 忠一⁴、原田 容治⁵、三好 和夫⁶、藤原 研司⁷

埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科¹、自治医科大学附属大宮医療センター消化器科²、上尾中央総合病院消化器科³、済生会川口総合病院消化器内科⁴、戸田中央総合病院消化器内科⁵、医療法人北浜会三好医院⁶、労働者健康福祉機構横浜労災病院⁷

P 29 女性の大腸癌死亡率を減らす工夫として大腸内視鏡検査女性被検者の意識調査

- 石川 恵子^{1,2}、名越 澄子¹、高橋 秀理²、持田 智¹

埼玉医科大学 消化器肝臓内科¹、平塚胃腸病院 藤久ビルクリニック²

P 30 女性外来における更年期女性の皮膚症状について

- 檜垣 祐子、大井 のり子、有川 順子、上田 嘉代子、加茂 登志子

東京女子医科大学附属女性生涯健康センター

P 31 咳嗽の治療目的に投与した麦門冬湯が女性の難治性皮膚炎に奏功した一例

- 高橋 浩子¹、高橋 安毅¹、川添 和義²

医療法人たかはし内科¹、徳島大学医学部・歯学部附属病院薬剤部²

P 32 「性差医療部」の立ち上げについて -東京女子医科大学東医療センターでの取り組み-

- 片井 みゆき^{1,2}、川真田 美和子^{1,2}、加茂 登志子²、新井 寧子²、菊池 尚子²、山田 朱織²、平 久美子²、山田 理恵子²、根岸 圭²、佐藤 美恵子²、都 もと子²、井上 安彦

東京女子医科大学東医療センター性差医療部¹、東京女子医科大学東医療センター日暮里クリニック女性専門外来²